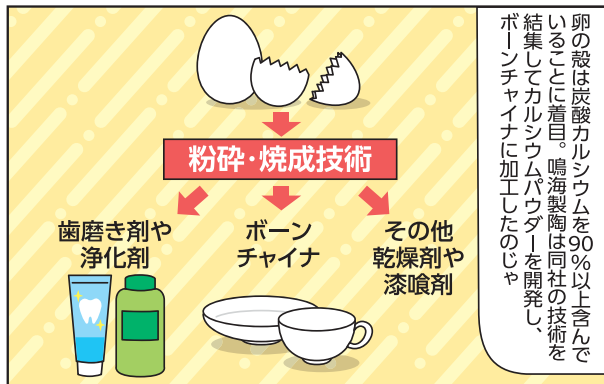
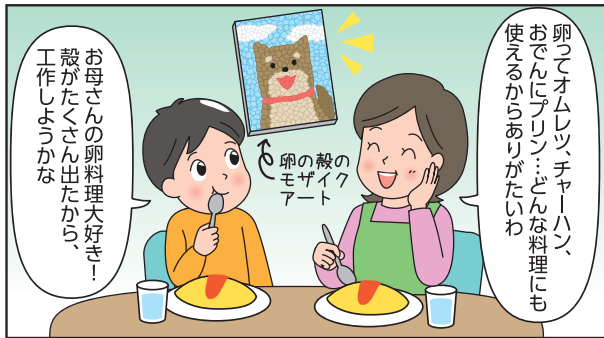
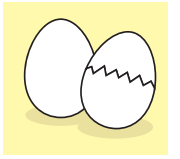


絵・株式会社あーす



農業を科学する アグリとサイエンス



卵の殻から高級磁器・ポーンチャイナ ～廃棄物を活用し原料置き換え～



卵殻を粉碎したものと

磁器以外の用途も開発中

普段の食卓に欠かせない存在の一つ「卵」。食器である「ポーンチャイナ」も食卓を彩る仲間です。でも卵の一部、「卵殻」は捨てられてしまっています。鳴海製陶陶(愛知県名古屋)ではこの食卓の仲間、卵殻も何とか利用できないかと考えました。創業1946年の鳴海製陶は、世界でも数少ない原料製造から企画・開発・販売まで一貫して行う洋食器メーカーです。

65年には日本で初めてポーンチャイナの量産化に成功した実績を持ちます。ポーンチャイナは、陶磁器の中でも誕生して300年未満の新しい素材です。その組成中には、他の陶磁器にはないリンやカルシウムを約40%も含むたいへん珍しい食器です。ここに卵殻が原料の功。ここに卵殻が原料の功。ここに卵殻が原料の功。

製陶は、世界でも数少ない原料製造から企画・開発・販売まで一貫して行う洋食器メーカーです。ポーンチャイナは、陶磁器の中でも誕生して300年未満の新しい素材です。その組成中には、他の陶磁器にはないリンやカルシウムを約40%も含むたいへん珍しい食器です。ここに卵殻が原料の功。ここに卵殻が原料の功。ここに卵殻が原料の功。

◎卵殻にこだわる
五つのメリット
鳴海製陶が卵殻にこだわる点は次の五つです。
①「品質安定」＝日本中どこでも卵殻成分は同じ
②「高品質」＝ポーンチャイナが嫌う鉄分を含まない
③「持続性」＝永

一般的な磁器との原料の比較

NARUMI ポーンチャイナ	原料種類	一般的な磁器
40%	リン酸カルシウム類	0%
30%	陶石・長石類	60%
30%	粘土類	40%

久に入手可能な原料④「環境保護」＝廃棄による処分場圧迫を回避し、廃棄物削減⑤「価値創造」＝最後に鳴海製陶が考えている「これからの卵殻について」を少しお話しします。私たちはこの原料をポーンチャイナ以外の用途拡大を進めています。例えば、医療、肥料、乾燥剤、漆喰、ファイバー(添加材)など、さまざまな業界で使える素材を開発しています。卵殻にはまだまだ隠された用途があり、今後何刀流になるか私たちも楽しみます。鳴海製陶は卵殻とともに循環型社会に貢献していきます。

鳴海製陶(株) 開発・製造部門 部長 兼 研究開発部長 西部徹

◇次回は6月27日付